



学校教育目標

生徒一人一人の個性や能力の伸長を図り、徳・知・体の調和のとれた心豊かな人間の育成に努める。

セルフイメージ(自分を好きになる感情)を高めよう！

～ 人には必ず長所があるはずです ～

「どうせ、やってもできないから、いくら勉強してもいっしょ」「どうせ私なんか・・・」
もしかしたら、こんな気持ちをもっている人はいませんか？「どうせ自分は・・・」と、
自分のことを決めつけてしまうことで、何に対してもヤル気がわからない、自分の将来のこ
とに関しても希望をもてないという人はいませんか？

それは誰でも“人間”としてこの世に生を受けてきた以上、頭が良くて、顔もスタイル
も格好良くて、運動神経も抜群で、誰からも一目置かれる存在として生まれてきたかった
という願望はあるはずです。ああなりたい、こうなりたい、人間の欲望には限りがないし、
欲望があるから人類の文化も発展してきたという面も実際あります。

だけど、現実には勉強が得意な人、苦手な人、スポーツが得意な人、苦手な人、いろい
ろな人がいるわけです。みんなが大谷選手のように野球がうまかったら、彼のホームラン
やピッチングを見ても何の感動もありません。

みんな違うから、人それぞれ個性があるから生きていて面白いと思います。得意な部分
もあれば、苦手な部分もある、そんなあるがままの自分を受け入れる中で自分の長所に気
づき、自分の人間性を伸ばしていく。このことは、長い人生を歩いていく上で大切なよう
な気がします。せっかく生きていくのだから、「自分は何をやってもダメだ」と思って生き
ていくよりも、「自分にはこんないいところがあるぞ」と思って生きていった方が絶対にい
いはずです。下の文のように、みんなにもぜひ、そんな自分を発見してほしいと思います。

僕は、できることより、できないことの方が多い人間だ。何をやっても人並み以下し
かできない。暗記をするにも人の二倍は時間がかかるし、作業するにも要領が悪く、な
かなか終わらない。運動神経も悪く、どんなスポーツをやっても下手だ。

見かねた母が、「せめて運動神経だけでも父親に似ればよかったのにね」と言う。
小さいころから不器用な自分が嫌でたまらなかった。何でも器用にできる人を見ては、
「同じ人間なのにどうしてこうも違うのだろう」と思っていた。それがうらやましくて
仕方がなかった。

しかし最近は、そうは思わない。自分ができないおかげで、できない人の気持ちが分
かる、と考えるようになったからだ。できない人の気持ちが分かる分だけ、人に優しく
なれる。そう考えると楽になった。

僕は今、人の気持ちが分かる温かい大人を目指して、頑張っている

あなたの言葉や行動で傷ついている人いませんか？